

苫小牧工業高専錦岡宿舎新営工事

学校名：苫小牧工業高等専門学校
事業名：学生寄宿舍・職員宿舎整備事業

工事内容：建築後40年以上経過し、耐震性への不安や老朽化により入居率が著しく低い錦岡宿舎団地の宿舎を取り壊し、新たに鉄筋コンクリート造3階建の集合住宅を建築した。冬期間使用不可となる駐輪場を設けず、屋外物置を設置した。

建物概要：

名称	錦岡宿舎
構造・階	鉄筋コンクリート造 3階建
延べ面積	911㎡
宿舎規格	単B
住戸面積	40㎡
戸数	18戸



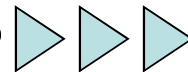
入居率の低下



地震時に倒壊の危険性
老朽化による衛生面での不安



取り壊し
立体集約化



安心・安全な職員宿舎を整備

成果・効果

環境に配慮した宿舍の建設により入居率アップ

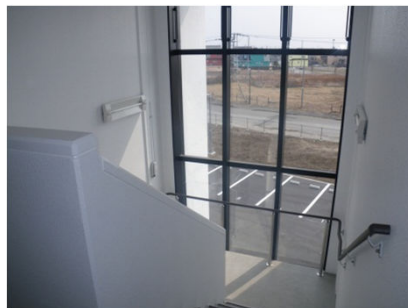
- 北海道で一般的な灯油ストーブと比較しCO2排出量の少ないガス熱源給湯器による温水暖房を採用することで環境負荷を低減した。
- 外断熱に加え、二重サッシの内窓にLow-Eガラスの樹脂サッシを採用することにより高い断熱性能を確保するとともに、結露の発生を抑えることで建物を長寿命化した。
- 団地全体の入居率が21.6%から100%に改善した。
- 樹木を整理したことにより団地全体の視認性が向上し、防犯対策に効果があった。
- 住環境を整備したことで、単身の教職員が採用・異動等に伴い安心して入居できる環境となった。
(今後、優秀な教職員の獲得を期待できる。)



高効率給湯暖房器を採用し
環境負荷を低減



樹脂サッシを採用した内窓



開放的なカーテンウォール

今後の課題

入居者の一層の確保のために

- 入居率の更なる向上を目指したアピールが必要
(宿舍使用料の安さ、通勤の負担とならない立地、鉄筋コンクリート造で隣室と接している面積が少ないことによるプライバシーへの配慮等のメリット)
- モニタ付きインターホン、オートロック等防犯に配慮した設備について特に女性教職員からの要望が多く、より安心な住環境の確保のため検討が望まれる。